

就活生支援 思いは一つ

「国を挙げて若者が働けるよう支援する。その思いは一つだ」。大隈和英厚生労働大臣政務官が10月19日、大阪新卒応援ハローワーク（大阪市北区）を訪れ、就職活動中の大学生と懇談した。新型コロナウイルスの感染拡大が就活に大きな影響を与える中、活動の現状や課題、国の支援策について意見を交わした。参加した就活生は「回り道の経験は今後の人生に必ず生かせる、と激励を受けた。希望を持って引き続き会社説明会や面接に臨みたい」と話していた。

懇談会は就活生の生の声を厚生労働行政に生かす目的で開かれた。就活中の女子大学生3人と大阪新卒応援HW所長が出席した＝写真①。

懇談会では大隈政務官＝写真②が「国を挙げて若者が働けるよう支援するという思いは一つである」とあいさつ。続いて就活生に対し、新型コロナウイルス感染拡大による影響や活動を進める上で一番求められる支援は何かについて質問があった。

ある学生は感染拡大防止の観点から大規模な会社説明会が中止になったり、開



かれても参加定員が限られたりしたことに触れ「十分な企業情報が得られず、納得できる会社研究ができなかった」と振り返った。

「コロナ禍での経験、人生に生かせる」

航空業界を志望していた学生は「大手企業は軒並み採用活動が中止となり、就職先の方向転換を余儀なくされた」とした上で「違う業界の面接試験に挑戦したが、なかなか上手くいかない」と厳しい現状を訴えた。

今の就活に必要な支援は何かという質問では「会社説明会が東京など遠方で開かれるケースがある。コロナ禍でアルバイトができず交通費をどう工面するか。経済的負担が大きいので、何か援助があればうれしい」と話す。

今年は多くの企業がオンラインで会社説明会や面接を実施した。だが、自宅に十分なネット環境がなく面接の途中で通信が切れたケースもあったという。このため「安心してオンライン面接が受けられる場所があれば助かる」との声も聞かれた。

大阪新卒応援HWを利用した感想については「就活に行き詰まり、すがる思いで来所した」と追い詰められた当時の心境を語り、相談を担当した就職支援ナビゲーター



から応募書類の添削や面接のアドバイスを受けたことに言及。「自分ひとりが就活をしているのではない。同じように歯を食いしばって頑張っている仲間がここにいる。ともに励まし合って内定をつかみたい」との声があった。

最後に大隈政務官が「皆さんから直接、生の声を聞くことができ、たいへん貴重な時間になった」とし「皆さんの仕事に対する情熱や思いをしっかりと受け止め、就活生の支援策を実現したい。取り掛かれるものから実施したい」と意欲をみせた。

「就活は独りぼっちではない。苦しい時は仲間とともに支え合い、難局を乗り越えて欲しい。コロナ禍で大変な時期ではあるが、長い人生でみれば意味のある時間である。希望を持ってより良い道が開けるよう願っている」と就活生にエールを送った。

学ハロ大阪新聞

発行所
厚生労働省 大阪労働局
大阪新卒応援ハローワーク
〒530-0017
大阪市北区角田町8-47
阪急グランドビル18階
TEL 06-7709-9455
FAX 06-7709-9458
<https://jsite.rhlwgojp/osaka-young/>

第49号

2020年10月30日

f 大阪新卒応援ハローワーク



- 2 年内の内定目指せ
- 3 学内出張相談会 今年も
- 4 消毒剤トップ企業

内定取り消しなど 特別相談窓口を設置

新型コロナウイルス感染拡大の影響で内定が取り消されたり、入社時期の連絡が来なかったりするなど不安な日々を送っている方は一人で悩まず、当所の特別相談窓口をご利用ください。

大隈厚労大臣政務官と大学生、懇談会

「面接など選考をWeb化したことで実際の職場を見られないことによる入社後のギャップが懸念される」（食料品製造業・社員100人以上499人以下）

▼「学生と対面のコミュニケーションが取れておらず、学生が企業への理解を深めにくい」（はん用機械器具製造業・社員500人以上）▼「中小企業にとっては採用のチャンス拡大となることを期待する」（設備工事業・社員99人以下）

▼「大手はWeb上の買い物サイトの立ち上げ、店内の衛生管理への設備投資、ドライブスルー形式の薬局の新設などを始めているが、そこまで手が回らない」（その他小売業・社員100人以上499人以下）▼「衣料関係は不況の中、ECサイトに関しては売り上げがアップしているところもあるため、SNSを活用していきたい」（繊維工業・99人以下）

これらは新型コロナウイルス感染拡大の影響について答えた企業側の声だ。大阪労働局が今年5月1日から6月12日まで314社を対象に実施した雇用に関する短期観測の結果である。

ピンチをチャンスに変える方法

就活の長期化を余儀なくされ辛い思いをしたり、これから就活を始めるにあたり不安でいっぱいだったりする若者も多いだろう。一方、企業側も皆さんと同じようにコロナ禍でのピンチをチャンスに変え生き残り図ろうと必死なのである。

では入社後、あなたは会社にどう貢献できるか、本気で考えたことはあるだろうか。

例えば志望動機である。10社あれば10通りの動機があるはずだ。ところが一節だけを差し替え、こと足れりとする履歴書を多く見かける。

確かにオンラインでの会社説明会や面接の実施を嘆く皆さんの気持ちは分かる。しかし、嘆いているのは企業側も同じである。

むしろ、志望する企業の商品やサービス、その企業の強みや弱みを徹底的に調べ、この逆境に入社後、どう立ち向かうのか。その思いを伝えることこそ大切ではないだろうか。

「コロナ禍」を逆手に取り、応募する企業がどうすれば今のピンチをチャンスに変えられるか。それを企業研究を通じ本気で考えてみよう。その気持ちが採用担当者に伝われば内定に一步、近づく。

目指せ、年内の内定。

年内の内定目指せ

では、年内に内定を得るにはどうすればよいのだろうか。毎年この時期になると、不安げで焦る気持ちを抱えた就活生が相談窓口に来られます。そんな方にお伝えしたいのは「効果的に窓口を利用しましょう」ということです。具体的には、①求人情報の提供 求人票を読み込むことで求める人物像を推し量り、その方に合う応募先の選定をお手伝いします。ハローワーク求人には例

年この時期でも中小企業の求人が増える傾向にあります。またデイリー企業説明会を連日、当所内で開いており、企業の採用担当者や面接、やりとりするチャンスがあります。②面接練習 定番の質問から深掘りの質問まで準備と練習が面接突破の鍵です。質疑応答はもちろん、表情や声の調子、目線や姿勢など皆さんの印象を左右します。理想は面接官との会話のキャッチボール。窓口での練習や個別模擬

面接を利用して、機会を増やし自信をもって面接に臨みましょう。③メンタルケア 企業が採用したいのは多少の困難にもめげずに立ち向かう力のある方。しかし結果が思わしくなければ表情も曇りがち。不安や焦りを解消し前向きに就活に臨むには心の支えが必要です。相談窓口では、皆さんの持ち味を見出しやる気を引き出すサポートを目指しています。

ではどうすれば…

窓口で面接練習、メンタルケア

LINE公式アカウント 友だち募集中

友だち登録はこちらからどうぞ↓



大阪新卒応援ハローワークはLINE公式アカウント友だちを募集。デイリー企業説明会の参加企業情報や就活ワンポイント(テーマに沿って就活アドバイスを定期的に配信)を発信していきます。ぜひ、友だち登録して就活の情報収集に役立ててください。



「深まる秋」 就活川柳・俳句
落ち葉踏み 希望の道を 一歩ずつ
木枯らしに 負けぬ心に 果報あり
耐えて咲く 強さ身につけ 冬すみれ
君の道 照らし続ける 冬銀河

「今さら」じゃなく「今から」やってみよう「自分史」づくり

秋も深まる時季となりましたが、就活中の方に今からでもぜひ、行っていただきたいのが「自分史」づくりです。大阪新卒応援ハローワークでの実例を紹介します。

今年7月下旬、大学4年生の女子学生が当所に新規登録に訪れました。彼女は自分には長所がないから自己PRが書けないと涙していました。

そこで、騙されたと思って小学生の頃から現在までの出来事やその時々のお気持ちの浮き沈み、得たものなどを振り返って「自分史」をつくるよう伝えました。

1週間後、彼女から「できあがったので一緒に見てもらいたい」と連絡があり、拝見しました。

内容はとてもきめ細かく自身の出来事を思い出しながら書き記したもので、際立ってよくできていて感動

しました。

相談では一緒に振り返りを行い、現在の彼女の人格や長所がどう形成されたかよく理解できました。その後、彼女は応募したい企業が見つかり、履歴書や指定のES（エントリーシート）を自然に書くことができ、書類選考を通過して面接に進むことになりました。当所でもう一度自分史を見ながら面接対策を相談して臨み1次、2次面接とも合格して9月中旬に見事内定を得て、感動の涙に結び付きました。

この間、約1カ月半の活動でした。何より大きかったことは、自身を深く理解でき自信が持てたことです。どうか、今からでも「自分史」を作ってみてください。ジョブサポーター（JS）と一緒に振り返ります。

大阪新卒応援ハローワークでは、本年度も府内の対象の大学や短大で学内出張相談会を実施している。学内のキャリアセンターに定期的に専用ブースを設置。応募書類の添削や面接練習、就活で悩んでいることなどの相談、応募企業の選択、ハローワーク求人への解説から紹介、応募までジョブサポーターが一貫して支援する。出張相談会は「ミニ版の大阪新卒応援ハローワーク」として感染予防対策をしっかりと取り、対面方式で来年3月まで実施する予定。通われている大学で実施しているかどうかはキャリアセンターに問い合わせで欲しい。

学内出張相談会、参加を



別室では説明会の模様をビデオで放映し多くの就活生が見入っていた。会場では座席の間隔を空けたり、就活生が一部屋に密集しないよう参加人数を時間ごとに絞ったりして感染防止に力を入れた。参加した学生は「対面式の面接は多少、緊張したが、志望の思いは伝えられた」と話していた。

大阪新卒応援ハローワークは10月20日から「フレッシュWEEK2020 就職面接会」を所内で開いた「写真」を新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し今年初めての大きなイベントとなった。6日間で延べ193人の就活生が参

6日で193人参加

加し、企業との面接に臨んだ。面接会には製造業やサービス業など22社が参加。各企業の採用担当者から会社概要などを聞いた後、就活生はさっそく面接に臨んだ。

フレッシュWEEK2020、面接会盛況

一つの力が次の力に…そして広がり…自分や周りの力へと

ストレス耐性＝ストレスに耐えられる力のこと。耐性は、負荷により高められるそうです。ストレスがない状況下では、耐性は養われにくいのです。

今年、コロナ禍で就職活動をされた皆さんは、実は多くの力を高めたと思います。

まずは、自宅待機を余儀なくされ、活動を制限されたことでの【忍耐力】。オンライン説明会・面接が主流となり、それに瞬時に対応してきた【対応力】。志望していた業界・企業への就職が厳しく、新たな方向を見つけ

動き出した【適応力】。まだ、きっとたくさんあります。

その力は、社会人となり働き出した後も、《光る》はず。たくさんの力が養われた皆さんが活躍できる企業との出会いまで、あと、少しです。そして、どう動き出そうかと、一人で悩んでいる方は、同じ状況下でがんばる仲間がいることを知ること、動く力が宿るのでは。

まずは、大阪新卒応援ハローワークまで、その一歩が次の力に、つながります。お待ちしております。

(大阪新卒応援ハローワーク所長)

コロナ禍、衛生や環境分野でニーズに応える

アルコール消毒剤は国内でトップシェア。消毒剤を製造する3大企業の一角を占めるのがサラヤ株式会社だ。新型コロナウイルスの感染拡大で商品ニーズが高まり売上高も伸びている。「衛生面だけでなく環境や健康分野でもお客様のニーズに答えていきたい」と語る同社の採用担当者に事業内容や社風、就活生へのアピールポイントを聞いた。



サラヤ株式会社

主力商品やサービスの強みは何か。

ただの化学メーカーではないところだ。アルコール消毒剤、ヤシノミ洗剤が代表商品として皆さまに利用いただいている。強みは少量多品種の商品を世に送り出し、細やかなニーズに答えている点だ。メーカー機能だけでなくセミナーの開催や衛生管理インストラクターとしてコンサルティング機能も持っている。



社員の方の雰囲気はどうか。

とても温かい。社長のメッセージは「今日も元気で愛想よく!」。フロアから常に笑い声が聞こえる。そんな雰囲気であれどよい社員ばかりだ。

就活生に知って欲しい点はどこか。

①アルコール消毒剤は国内トップシェア②消毒剤を製造する3大企業の一つとして国から認可③第1回ジャパンSDGsアワード受賞④衛生環境のパイオニアメーカー⑤新規事業を多数展開⑥意外と身近なところに弊社の商品があり知らないうちに触れ合っているかも。それだけ影響力があるということだ。

見える貢献が魅力の一つ。

売上高や経常利益などコロナ禍での業績見通しはどうか。

新型コロナウイルス感染拡大で商品ニーズが高まり売上高は伸びている。衛生だけでなく環境や健康分野も少量多品種の商品を世に送り出し、お客様の細やかなニーズに答えていきたい。



採用選考では就活生のどんな点を評価しているのか。

まず改善行動がなされているか。入社後も自らを省みて改善してくれるかという点を見る。二つ目はエピソードに具体性があるか。自己分析の深さの指標になる。

ご自身の会社や仕事選びのポイントは何か。

①業界シェア率No.1の事業や商品、サービスがある(信頼性)②歴史は50年以上(安定性)③変化のスピードが速い(適応力、時代の先取り、先見性)④新規事業の有無(将来性)⑤休日休暇を取得する上で選択肢が多

い(メリハリのついた働き方、社員に合った制度の充実度)。これらの要素を軸に入社を決めた。特にCSRだ。就活当初、私は活動内容を聞き、期待に満ち溢れる高揚感を抱いた。「これほど社会へ貢献している会社は他にない。働きの成果が国内外問わず人々の生活を支えることにつながるなんて素晴らしい」と感じた。

会社の第一印象、入社を決めた要因は何だったか。

会社のエントランスに入った途端、見ず知らずの私に社員が愛想よく挨拶してくれた。会釈で済むところを「いらっしゃいませ」「こんにちは」と笑顔で目を合わせ声をかけてくれた。緊張している私にとって気持ちが和らいだ。面接は非常に和やかだった。話題も雑談のように話しやすく、いつの間にか緊張も解れ自分の言葉で



自然に話していた。入社を決め手は事業内容の幅広さと社会貢献度の高さにあった。

新入社員時代はどんな仕事に携わっていたか。

配属先は人事部で現在に至る。人事は会社の顔であり、社業に精通する必要がある。そこで私は会社を紹介する資料やキャッチコピー、会社の紹介文を複数作成し大学内での企業研究会や会社説明会に参加した。当時、報連相(報告・連絡・相談)の細かさに苦戦し、よく上長に怒られた。ミスを繰り返す自己嫌悪に陥ることもあったが、どんな時も笑顔を絶やさず何度もトライしているうちにいつの間にか時間が経った。今では会社説明会を自分のものにでき、自信をもって会社をPRしている。

仕事選びに悩む就活生に伝えたいことは何か。

前向きな気持ちを忘れないで欲しい。諦めず前向きに取り組めば、その先の未来はどんな形であれ明るいはず。決して一人ではない。一緒に頑張ろう。

仕事や企業選びで大切なことは何か。

仕事で大切なことは粘り強さだ。社会は理不尽があっても当たり前。転職しても同じ困難は必ず来る。打たれてもつぶれない。転んでも立ち上がる。絶望しても笑顔。粘り強く取り組んだ人だけに信頼や称賛、キャリア、成長、承認が与えられる。企業選びの軸とは『自身にとっての優先順位』であり正解はない。「こんな会社で働きたい」という条件整理が大切。優先順位を定め条件が最も多く当てはまる会社が自身にとっての『良い会社』だ。